

円陣～エンジン～



令和2年 11月 24日

根獅子小 校内研修通信 No10

文責 松田 優子

いよいよ11月も最後の週となりました。2学期の終業式まで1ヶ月。2学期の評価も気になる時期となりました。研究の方は、人権教育研究推進事業の研究発表会も無事に終わり、一段落といった感じですね。

先日、へき連の発表会で野子小学校に行って参りました。3・4年生の複式の算数科の授業を参観させていただきました。3年生が4人、4年生が3人と本校とほぼ同じ規模でした。学ぶことが多くありました。紹介させていただきます。

学習規律が十分に定着していました。昨年度おられた力武先生もいわれていましたが、1年生の子でも聞く態度が十分に育っているそうです。聞くことの徹底の重要性を感じました。そのため学力も高いようです。今後も学校全体として学習に真剣に取り組む態度を今以上に高めていけるように指導をしていきましょう。

2学期から徹底し始めた「ねしっ子学習のきまり」の定着状況はいかがでしょうか。子どもたちにとって学びやすい環境を作るという意味でも統一すべき所は、みんなで統一していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願いします。

27日の公開授業について

27日の公開授業では、お忙しい中参観していただくことになり、感謝いたします。今回の授業では、「普通の授業」というコンセプトで教育委員会からの依頼を受けておりますので、私の中では、子どもたちの学びの様子を見ていただく良い機会だと捉えています。これまで人権に関わって授業を見せ合ってきましたので、授業の視点はどこなのか、という質問もいただいております。「複式の指導」という視点で授業を見ていただければと思います。中学年におけるガイド学習の高まり、学び合いの様子、教師の立ち位置、などです。私は、徐々に学びの責任を子どもたちに譲ってきているつもりですが、学習内容によっては、やはりここは直接指導を行わなければならないというところが出てきます。その見極めが大変難しいと日々の授業の中で一番苦労している所です。教師が直接指導していないところの子どもたちの学びの様子をみていただければ幸いです。

学習内容について

3年生・・・「重さをはかって表そう」(6/9)

目標・・・正味、風袋、全体の重さの関係を知り、重さの加法性や測定の仕方の工夫について理解する。

予想される授業の様子・・・文章題を苦手としている児童が大変多くいるため、式につなげられるかがポイント。水のかさの学習など以前の学習を思い出せるか。

同じ単位同士をたせば良いというまとめにつなげられるか。

問題→式→めあて→解き方の見通し→自力解決→発表→まとめ→練習問題→やってみる→学習感想

4年生・・・「計算のきまり」(4/8)

目標・・・ドットの数の求め方を図や式に表したり、図や式から考え方を読み取り説明したりすることができる。

予想される授業の様子・・・多様な考えを出すことができるか。見通しは簡単に。まとまりを見つけることとかけ算をつかって一つの式に表すことを押さえるのみ。個別指導は、ヒントカードを使う。そうすることで多様な考えの良さを見つけられるのではないか。

問題→解き方の見通し→めあて→自力解決→発表→まとめ→練習問題→学習感想